

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/04/30号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

地政学リスク緩和も80ドル割れは回避で修正高

NY原油先物相場は、1バレル=80.70ドルまで下落した後、83ドル台後半まで切り返す展開になった。イスラエルとイランの本格的な軍事衝突のリスクが軽減されたと評価される中、調整売りで3月27日以来の安値を更新した。しかし、その後は値ごろ買いを入れる動きが強まり、安値修正の動きが優勢になった。依然として中東情勢は緊迫化していることに加えて、需給には適度のタイト感がみられ、押し目買い拾われている。

4月13～14日にイランはシリアにある大使館がイスラエル軍に攻撃されたことへの報復攻撃を行ったが、19日にはイスラエルがイランに対してドローンによる報復攻撃を行ったとみられる。しかし、イスラエルは攻撃の有無を明らかにしない一方、イランは被害が軽微と報告しており、両国が軍事紛争の拡大回避のために自制を見せていることが上値を圧迫している。ただし、イスラエルはガザ地区南部ラファへの地上軍投入を示唆するなど中東の緊張状態は維持されており、押し目買い拾われる展開になった。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (4月19日時点) は、原油が前週637万バレル減、ガソリンが63万バレル減、石油精製品が161万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

80ドル台でのボックス相場、押し目での物色妙味は維持される

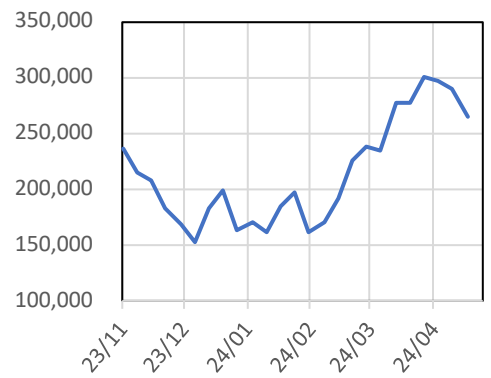
中東の地政学リスクが緩和される中、一気に90ドル台乗せから一段高を試すような急騰リスクは軽減されている。イスラエルとイランが報復攻撃の応酬を迫られる最悪の地合は回避され、ファンドも持高調整の動きを活発化させている。ただし、中東情勢を巡る緊張状態が解消された訳ではなく、今後は0ドル台をコアとした高止まりに移行する見通し。

引き続き中東情勢には注意が必要であり、イスラエルがガザ地区南部ラファへの本格侵攻を始めると、中東情勢全体が改めて不安定化するリスクが高まる。フーシ派やヒズボラなどの武装組織の動きが活発化すると、原油相場に対してもリスクプレミアムが加算されやすくなる。一方で、エジプトの仲介でイスラエルとハマスの休戦協議も行われており、仮に休戦合意が実現に向かうようなことがあれば、一時的に80ドル割れを試す可能性もあろう。80ドル台前半でのリスクバランスは上向きとみられるが、中東情勢の変化に対しては柔軟な対応が求められる。

一方、5月に入ると北半球が本格的なドライブシーズンに突入する。ガソリンやディーゼル油などの需要が上振れしやすく、需要サイド主導の需給引き締め見通しが織り込まれると、底固い展開になろう。製油所稼働率も上昇しやすく、特に米原油在庫が2週連続で減少すると、買い安心感が強まりやすい。

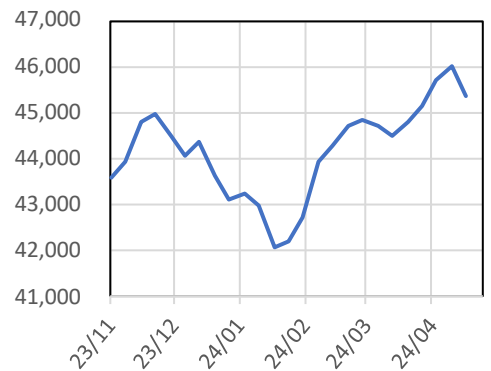
イベントリスクとしては、4月30日～5月1日に米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催される。利下げへの慎重姿勢がドル高、株安を促すと、原油相場の下振れリスクは高まる。4月30日に中国の4月製造業PMIにも注目したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



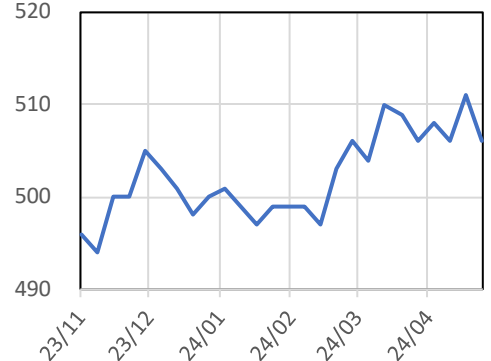
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

